

第1回 竹野地域デザイン懇談会を開催しました

3月14日（日）竹野南地区コミュニティセンターで、「竹野地域デザイン懇談会」を開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

はじめに市から、これまでの公共施設再編、公共施設マネジメントの取組みなどについて説明し、そのあと「竹野地域内にある公共施設の現状と利用実態等の確認、共有」を行うため、参加者の皆さまに5つの指標（①生活機能②利用機能③経済機能④安全安心機能⑤風土形成機能）から各公共施設を診断していただきました。その結果を見ながら、意見交換を行いました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

<懇談会の様子>



◇第2回地域デザイン懇談会開催のお知らせ

開催日時	開催場所	内容（予定）
2021年5月27日（木） 午後7時～	竹野庁舎	地域住民の生活と身近な公共施設との関わり

【懇談会の傍聴について】

傍聴をご希望される方は、竹野振興局地域振興課へ電話、Eメールにてお申し込みください。

- (1) 対象者：竹野地域に在住・在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 47-1111 Eメール takeno-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：①氏名 ②住所 ③連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年5月24日（月）

参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

- ◆竹野小学校も移転し、竹野老人福祉センターもB & Gもなくなる。竹野浜地区は、災害時を考えると何もなくなる。
- ◆B & G海洋センターは廃止の方向性であるが、いろんなスポーツ団体が利用していて、廃止となるとスポーツ団体はどこで活動するのか。高台にあるので避難所的な使い方もできるのでは。
- ◆竹野北前館の開館時間が遅い。地域のためにもっと活性化する必要がある。人の出入りが多くなるような場所にしないといけない。
- ◆中竹野小学校が閉校された後、学校の跡地がどうなるのか気になる。地域活性化に役立つような利用をしてほしい。
- ◆農林産物加工研修施設では、刺身こんにゃくや味噌等を製造している。地域に譲渡されると、委託管理費がなくなってしまうのではと危惧している。委託管理費なしでは維持が難しい。
- ◆椒地域ふるさと生きがいセンターは、1階は「ネクストグリーン但馬」と「森の学校だんだん」が、畑仕事、林業、喫茶店などに利用している。2階は椒振興協議会が管理し、年1～2回の総会や消防団活動で使用しているが、あまり利用している印象はなく、利用者も椒地域の人のみである。ただし、避難場所としては利用できる場所が他にないので、使用したい。
- ◆旧大森小学校は集会や料理を持ち寄って居酒屋を開いたりしてよく利用していたが、建物の耐震化がされていないため利用が不可となった。同じ様に利用できる施設があれば良いのだが。
- ◆竹野南は、竹野や中竹野と地域性が違う。竹野浜の方には距離があるため行くことがほとんどない。買い物なども豊岡市内に行くので、生活の行動範囲は竹野ではなく豊岡市内である。

【参加者アンケートより】

- ◆思い切った改革（廃止ないしは統合）等考えるべきである。
- ◆市の施設が分かって良かったです。良い機会で、今後に期待します。
- ◆再編計画の方向性が示されている中でのアンケート調査は無意味である。これからの方向性を検討する会議で、事前に方向性が示されては評価がゆがめられる。
- ◆市民の意見を聴く大変良い懇談会であった。
- ◆今後の少子高齢化に合わせ、施設を再編することは大事なことである。
- ◆豊岡市における公共交通のあり方等を検討する懇談会も開催してほしい。
- ◆同じ地区でも現状を把握していないことが多く、驚きました。
- ◆普段はあまり利用していないが、地理上の問題等により、災害時には利用したい等、柔軟な対応をしていきたいです。
- ◆とても大切なことなので、本当に良かったです。次世代に負担を先送りしないために！
- ◆マップを見ながら考えを整理できました。
- ◆箱は必ずあるべきでなく、機能を残したり、統合したりすることで良いのではないかと考えた。

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
竹野振興局地域振興課 電話 47-1111